

中間とりまとめ方針(案)(H29年11月)と中間とりまとめ(案)(H30年3月)の相関表

		平成29年11月 中間とりまとめ方針(案)			
		企業評価・技術者評価	入札契約方式、積算	監督・検査	建設生産・管理システム全体
平成30年3月 中間とりまとめ(案)	働き方改革の推進及び中長期的な担い手の確保・育成 1-1.緑字 1-2.赤字 1-3.青字 1-4.茶字	<ul style="list-style-type: none"> 監理技術者の代替制度の導入、企業のバックアップ体制の評価等 現場代理人の実績の評価を監理技術者と同等に評価 	<ul style="list-style-type: none"> 設計労務単価や技術者単価の改定 適切な積算の改善 技術検定制度の改善等による若年層の資格の早期取得に向けた環境づくり 若手技術者の現場配置の促進 現場技術者の休暇取得の促進等の現場の労働環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 書類等の統一化・簡素化 	<ul style="list-style-type: none"> i-Constructionの推進、長時間労働の是正、週休二日の確保や施工時期の平準化等により、建設現場の生産性向上と技術者・技能者等の働き方改革を進める。 週休2日を前提とした適正な契約期間の確保、3月納期集中の緩和等の業務の平準化 中長期的な事業量の確保・公表 受発注者が協働して積極的に広報
	「地域の守り手」である地域建設業の持続的な育成・確保 2-1.緑字 2-2.赤字 2-3.青字	<ul style="list-style-type: none"> 等級区分の設置、分離分割発注、個別工事の地域要件の適用、災害活動などの評価等 高い技術力や現場力を保持している企業が、より規模の大きな工事へ参加可能とするなどのインセンティブのある制度の検討 発注者と地域企業が一緒になって、地域防災力の維持・向上を図るための方策を検討する場を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 事業協同組合、地域維持型JVの活用、フレームワーク方式の導入検討 手持ち工事量の評価、チャレンジ型や自治体実績評価型の拡大 「災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン」を地域発注者協議会等の活用により、地方公共団体にも普及 積算システムの標準化・共有化 地方公共団体へ技術的手法等の情報共有 専門的な知識又は技術を有する者の育成及び活用 地域発注者協議会等を活用した発注者間の情報共有、相互連携の促進 地方公共団体所管の建設技術センターや地域の建設業協会等との協力関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 基準類策定や検査官等の人材育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業へのi-Constructionの普及・拡大。小規模工事の基準類の策定や地方公共団体をフィールドとしたモデル工事の推進 (建設コンサルタント等)新規参入を希望する企業の参加機会の確保、若手・女性技術者の参加機会の拡大、地域企業の受注機会の確保等
	i-Constructionの推進等を通じた生産性の向上 3-1.緑字 3-2.赤字 3-3.青字		<ul style="list-style-type: none"> 設計段階での新技術導入検討の義務化 現場ニーズを踏まえた発注者指定による新技術活用工事の増大 テーマ設定型による技術公募の拡大などNETIS登録技術の積極的な活用 提案・交渉方式(ECI方式)の拡大 技術開発が必要な工事を対象とした入札・契約制度の構築・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 異なる発注機関をまたがる情報ネットワークシステム構築の検討 	<ul style="list-style-type: none"> CIMモデルの標準的仕様の整備 測量・調査・設計・施工・維持管理で一貫通貫の流通・利活用の推進 ICT施工適用工種拡大、技術基準類の適宜見直し、資格審査、入札・契約段階、工事成績評定におけるi-Construction等の取組の評価 技術開発窓口の設置と技術開発の推進 プレキャスト製品やハーフプレキャスト等の規格の標準化に関する技術基準の策定 官民が所有する各種地盤情報を統合、共有化した地盤情報データベース(仮称)の構築 最先端のサプライチェーンマネジメントの考え方の導入 i-Constructionコンソーシアムを活用した現場ニーズと技術シーズのマッチングの充実
	品質に対する信頼性の向上 4-1.緑字 4-2.赤字		<ul style="list-style-type: none"> ICT等の活用による効率的かつ即時的な施工データの収集や共通仕様書等の見直しも含めた積算システムの改善技術 	<ul style="list-style-type: none"> 監督・検査に携わる人員の確保 受発注者双方において不断に書類等の統一化・簡素化、情報共有システム(ASP)等の活用、3次元データ等による監督・検査業務の効率化・合理化等 ISO等を活用した受発注者の協働による品質管理マネジメントの構築 長期性能保証付契約の活用や「公共工事長期品質保証制度(仮称)」の創設 計測データや映像等を活用した連続的な電子データによる状況確認への転換、AI・ロボット等革新的技術を積極的に導入 	<ul style="list-style-type: none"> 工事に入る際の三者会議の開催に加え、設計に入る際の三者会議の開催 建設生産・管理システムの上流工程に位置する測量及び地質調査業務について、流通するデータの品質確保が図れるような評価・検証システムの構築 設計成果の品質確保を図るため、発注者は現場状況を適切に把握するために必要な測量及び地質調査等を実施した上で、適切に設計業務の発注条件を定める
	建設生産・管理システムの不断の改善 5-1.緑字 5-2.赤字 5-3.青字 5-4.茶字	<ul style="list-style-type: none"> 今後の大量維持更新時代に対応できる工種や等級の見直し 全国・ブロック企業、地域企業、専門工事企業などの企業群に、災害時のBCP体制、働き方改革等も加味した多様な企業評価の実施 企業自らが経営戦略に応じて、市場を選択できる制度「(仮称)選択マーケット制」の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 単価契約やコストプラスフィー契約などの多様な契約方式の検討 事業促進PPP制度の適用拡大や実績の評価等について検討 必要な人材を登録する制度等の創設 政策推進のための施策や評価項目の設定 業務内容に応じた適切な方式の選定 総合評価落札方式において、企業、技術者、技術提案評価の適正なバランスに努める 表彰及び災害活動実績の優位評価の有効期間の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 社会資本に関するデータベースの構築 AI等を活用しながら各段階のプレイヤーが効率的に利活用できるような仕組みや体制の構築 電子納品の格納率引き上げ、CIMモデルによる3次元データ納品の積極的な推進 測量・調査・設計業務や工事に関する技術者データベースを統合運用 工事成績の相互利用や監督・検査等の人材育成支援等 海外実績、成績等の国内工事への活用。 日本国政府が相手国政府との政府対話等を通じ、上流側から、入札契約制度や監督検査制度等の効果的な建設生産・管理システムを構築 海外においても活躍できる人材の育成について受発注者双方にて取り組む